

令和6年度商店街実態調査及び商圈調査の結果を お知らせします

長野県では、県内商店街が直面している課題や問題点及び県内の商圈動向等を把握するため、商店街実態調査及び商圈調査を3年に1回実施しています。

このたび、令和6年度調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

令和6年度商店街実態調査結果のポイント ※括弧内は前回(令和3年度)調査比

- ・ 商店街数は167(▲22)
- ・ 景況感 「繁栄」6.6%(+5.9%)
「変わらない」50.3%(+13.9%)
「衰退」37.7%(▲23.0%)
- ・ 空き店舗率は9.9%(+1.2%)
- ・ デジタル化を実施している(する予定がある)商店街は19.8%(初調査)

令和6年度商圈調査結果のポイント ※平成15年8月31日現在の旧市町村単位での調査

- ・ 上位7市で全県の過半の商圈人口を占める
- ・ 地元滞留率は、町村部の約9割超が30%未満
- ・ 県外への流出率が20%を越えたのは6町村

詳細は下記に掲載の報告書を御確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/shotengai/chosa.html>

